

ANIMAL CENTER NEWS

No . 14

目次

◆マスク 1人1日1枚のお願い

◆新型コロナウイルス感染症の対応について

◆オクトミタス・盲腸原虫感染事故の経過について

◆微生物モニタリング検査結果について

◆第 23 回 CARD セミナーに参加しました

◆第 13 回ラットリソースリサーチ研究会に参加しました



(写真 1) 椿

◆マスク 1人1日1枚のお願い

マスクの在庫が少なくなってきました。
センターご利用時は1人1日1枚にご協力ください。
※感染室は通常通りご使用ください。

◆新型コロナウイルス感染症の対応について

4/14より動物実験部門は新型コロナウイルス感染症対策のため担当職員が2箇所に分かれて業務を行っています。

2F 管理室：大野、中岡、奥川（内線番号 5446）

医学部棟 1F 教官室：柳原、浦岡、相原（内線番号 5445）

動物搬入許可書など、事務的な処理はこれまで通り管理室までお願いします。

万が一、動物実験部門全職員が出勤停止になった場合は、通常業務である点検ができないだけでなく、ケージ洗浄およびオートクレーブによる滅菌などもできなくなるため、下記の事にご協力ください。

《センターを利用されている各講座担当の方にお問い合わせいただきたいこと》

- ・飼育されている動物の健康管理
- ・餌と水の点検、補充
- ・ケージ交換は最小限度に留めてください
- ・ケージの予備がなくなった場合は、床敷を各部屋に設置しますので、適量を各ケージに足してください
- ・動物センター内にある鍵の貸出が必要な機器や受託業務の利用は特別な場合を除き中止とします

突発的な事故については緊急連絡先

Animal99@m.ehime-u.ac.jp までご連絡をお願いします。

万が一、センター内に閉じ込められた場合は、センター内の電話を用いて内線 5212・5213（医学部警備室）までご連絡をお願いします。

◆オクトミタス・盲腸原虫感染事故の経過について

マウスの消化管内原虫オクトミタスの感染経過について、347 室 348 室 206 室は、陰性確認および消毒が完了して復旧しました。残りの 245 室は感染マウスのクリーニングを実施しています。終了後、飼育室ラックを消毒、復旧します。感染室に隔離のマウスもクリーニングを実施しています。

ラットの盲腸原虫の感染が確認された 242 室 221 室 125 室は、パモサンピランテル飼料の投与、イベルメクチンの噴霧を 1 カ月実施後、実中研にて検査しました。結果、3 室全て陰性になり盲腸原虫の駆除が終了しました。共同利用の実験室の使用を許可します。盲腸原虫に感染したラットについては再発を防止するためのクリーニング、飼育室の消毒を依頼しています、

◆微生物モニタリング検査結果に関して

2020 年 3 月に各飼育室の微生物モニタリングを実施しました。

各項目、すべての飼育室で陰性でした。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/b94e684d871cd8a8a5cd4faf73ec623ce73f2f0a.pdf>

◆第 23 回 CARD セミナーに参加しました

2020 年 2 月 8 日に東京にて開催された「第 23 回 CARD セミナー マウスおよびラットにおける最新生殖工学技術」に参加しました。

当センターでも実施している、マウス・ラットの生殖工学技術やゲノム編集技術に関する最新の情報を学んできました。今後はさらに良質な技術を利用者の皆様にご提供できるよう、本セミナーで学んだことを活かしていこうと思っておりますので、是非ご利用ください。

◆第 13 回ラットリソースリサーチ研究会に参加しました

2020 年 2 月 21 日に京都大学医学部芝蘭会館稲盛ホールで開催された第 13 回ラットリソースリサーチ研究会に参加してきました。

第一部では、ラットリソースに関する講演が行われ、AMED のナショナルバイオリソースプロジェクトの現状やラット生殖工学技術の課題について学び、今後実際にラット生殖工学関連業務を進めていく上で必要不可欠な知識・技術的ノウハウを習得しました。

第二部では、ラットリサーチに関する講演が行われ、ラットを用いた腎臓・血管・肝臓・脳の研究について具体的に学び、最新の研究技術動向に関する有益な情報を習得しました。ゲノム編集も含めた昨今のラット生殖工学技術の発展は目覚ましいものがあり、今回得られた有用な知識を今後の施設運営・業務遂行に活用して参ります。